

うそつきモツケの生涯 しょうがい

だて演劇塾「とらのしま」第四回舞台公演

脚本・演出 川手鷹彦



古代ギリシャの彫刻「イルカに乗った少年」

2010年1月11日 (月・祝)

開場 PM 4:00 開演 PM 4:30

会場 とわに一 (豊浦町字幸町87-9)

観劇される方はひとり500円以上の支援金をお願いいたします。

小学4年生以上の静かに観られるお子さまから入場できます。

後援：豊浦町

豊浦町教育委員会

豊浦とわに一倶楽部

<うそつきモッケの生涯>

大人の無理解から学校へ行かなくなったモッケこと横川守太郎（第一幕「夢見るモッケ」）。ギリシアへの船上でノルウェイ人クリスティアンとチェコ人アンドレイと出会い、龍と先住の神の謎に迫る（第二幕「モッケ、ギリシアへ行く」）。第三幕はドビュッシーの調べに乗せて、心の森に分け入る（「森の中のモッケ」）。ピアノ演奏に名手福田直樹を迎え、子どもたちの繊細な感性が人の魂の最奥を探る。

<だて演劇塾「とらのしま」は>

地域に暮らす子どもたちに呼びかけ、不登校や特別な配慮を必要とする子どもたちも含めた、異なる成長の背景を持つ子どもたちが出会い、ともに演劇を創り上げる、教育的演劇活動です。

2006年より演出家の川手鷹彦氏の指導のもと、伊達市周辺の子どもの中心に「演劇塾だて」として活動。

2007年1月には『虎の縞は心の森』を発表、大きな感動を呼び、2008年は『名のない天使』を1月に公演、2月にはその再演を実現させ、2009年1月には全ての存在を慈しみ、生きることの意義を問う『ごきぶり五郎兵衛物語』を上演しました。

現在新年度へ向け塾生募集中。芝居をみんなで創ってみたい人、人前に出るのが恥ずかしいけど興味のある人、学校や人のたくさん居るところに行きづらい人、本物の芸術を求める人来たれ。

出演

落合倫之介	尾中瑛野
甲斐田沙羅	木村初雪マケダ
新村奨	堤柊斗
豊田志歩	中川佑作
坂東摩耶	坂東龍汰
藤田柚子	二木菜月
宮原恵未	吉居拳太郎
吉居薫乃	若菜遼
(五十音順)	

出演／制作等

(ボランティアスタッフ)

上野辰太郎	落合毅
木村里子	佐々木貴子
佐藤ひろ美	新村直子
豊田真樹子	谷目和人
中川美紀	二木尚美
根本弘一郎	根本美恵子
平田よし子	古屋京子
吉居昌子	若菜知世
若菜直美	(五十音順)

<演出家の紹介> 川手鷹彦 (かわてたかひこ)

演出家・著述家・治療教育者。藝術・言語セラピー研究所「青い丘」(東京)治療教育研究所「うーじぬふぁー」(沖縄)を主宰。東京大学・早稲田大学・立命館大学を始め、諸大学での美的・芸術的講義が好評を博す。

スイス・ゲーテアヌム言語造形・舞台芸術学院卒業。

パリで鬼神ランダを舞い、日欧の子どもたちの心の保護に携わってきた。2000年に始まった演劇プロジェクト「オイディプス王」(第1回・2回は法務省保護局の依頼)等、各地での少年少女のための演劇塾は大きな反響を呼んでいる。また、「とらのおかみ」等の活動を通じ、昔話の研究・再話・創作・普及に努めている。

著書に『隠された子どもの叡知』『心の傷を担う子どもたち(哲学者中村雄二郎と共著)』『子どものこころが潤う生活』翻訳書にドナ・ウィリアムズの『自閉症という体験』(以上いずれも誠信書房)、他。